



2023年9月5日  
株式会社 阿波銀行

株式会社大和木材商会の「SDGs 宣言書」策定について  
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 福永丈久、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、株式会社大和木材商会（代表取締役 柰保 富男、本社：大阪府大阪市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

#### 【企業概要】

企業名	株式会社大和木材商会
所在地	大阪府大阪市西区北堀江一丁目6番25号
代表者	柰保 富男
業種	木材卸売業
設立	1951年1月8日

#### ○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

# SDGs宣言書

2023年9月5日



## 株式会社大和木材商会 代表取締役 空保 富男

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境	ゴミ・廃棄物削減	未来の地球環境を守るため、自社で排出する廃棄物の削減やリサイクル等の活動に努めます。	① 木材・合板の加工過程で発生する端材について、有効利用できる他社に譲渡	8 働きがいも経済成長も	11 住み続けられるまちづくりを
			② 2025年までに端材廃棄ゼロ	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	12 つくる責任 つかう責任
環境・経済	グリーン購入	環境負荷の小さい原材料の購入や3Rの推進に努めます。	① 環境負荷が低い原材料の調達(リサイクル材、竹等の天然素材、植物由来のプラスチック等)	8 働きがいも経済成長も	13 気候変動に具体的な対策を
			② 2025年度までに導入率100%	12 つくる責任 つかう責任	
環境・社会・経済	社会・環境に配慮した消費の推奨・実践	社会・環境に配慮した商品の購入・消費を企業として推奨・実践し、「エシカル消費」を推進します。	① 備品・消耗品の環境配慮型製品への切替え	12 つくる責任 つかう責任	15 陸の豊かさも守ろう
			② 2025年度までに100%切替え	14 海の豊かさを守ろう	17 パートナリシップで目標を達成しよう
環境・社会・経済	社会課題解決に資する商品・サービス開発	SDGsのターゲットやゴールと自社の事業のつながりに関して理解を深め、今後SDGsに貢献する製品・サービスの開発に取組みます。	① 自社事業による社会的課題へのアプローチを検討・整理	8 働きがいも経済成長も	
			② 2025年度までに整理、全社員へ共有	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	



### SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。